学校番号	T3036

令和８年度　学教養科

教科	学教養	科目	(学)ハンドクラフトＢ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では身近な材料を使ったものづくりを行います。まず、製図通りの立体を造形できるようになりましょう。次に、自然にある素材などを自分で探し、それを使って製図の無い立体の用具を作成します。最後には、自分で企画・創造し自由に作品を制作します。楽しみとともに自身の創造性を発揮し、作品を表現しましょう。

２　学習の到達目標

(1) 平面から立体への硬質造形を理解することができる。
(2)自ら身近にある材料等を考え、作品を仕上げることができる。
(3)ものづくりに関心を持ち、自主制作ができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	フリーテクニック技法による平面から立体への硬質造形を理解する。また、製図通りの立体の造形、製図の無い立体の造形の制作を通して、最終的には自分で企画・創造し自由に作品を制作することができる。	自分で企画・創造した作品を制作し、作品の中に自分の意図を表現できる。	身近なものを使って、ものづくりを行うことに対する関心をもち、製作を楽しむ中で、自主的に学び、向上しようとする。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

4　学習の活動

月	単元・学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
4月	平面をつくる	a:テープを使った平面の作り方について学び、身につけている。 b:平面の中に自分の意図を表現している。 c:テープを使った平面の制作に対して関心をもち、取り組んでいる。	授業観察 ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート
5月	製図 テープを使った表現の工夫の仕方	a: 製図の方法、見方、テープを使った表現の工夫の仕方について学び、身につけている。 b:どうすれば合理的な立体が制作できるかについて考えている。 c:製図、表現の工夫に対する興味をもち、取り組んでいる。	授業観察 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート
6月～9月	【ふたなしかごの制作】 直方体の制作 端の始末 ラッカー塗り ラッカーの重ね塗り 仕上げ	a:直方体の制作順序、端の始末の仕方、ラッカー塗り（重ね塗り）について学び、理解するとともに、作品を完成させることができる。 b:ふたなしかごに、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c:ふたなしかごの制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

10～12月	【壺型かごの制作】 民族学博物館資料の鑑賞 骨の制作 骨の間の縫いこみ 縁の始末 ラッカー仕上げ	a: 壺型かごの制作順序、骨の制作、縫込み、縁の始末の仕方などについて学び、理解するとともに、作品を完成させることができる。 b: 作品の鑑賞を通じて、発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。壺型かごに、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c: 壺型かごの制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート
1～3月	自由作品の制作	a: 製図を完成させ、学んだ知識活かして自由作品を完成させている。 b: 自由作品について、構想を深め、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c: 自由作品の制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	作品	作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度